



## ■寺の開創

建長7年(1255)2月に造られた梵鐘(国宝)に「建長禅寺」とあるように、当寺はわが国で最初に「禅寺」と称した中国宋朝風の臨済禅だけを修行する専門道場である。およそ、中世を通じての寺院は、1か寺で天台宗と真言宗・浄土宗などを兼ねている例が多かったから、建長寺のような1寺1宗という浄刹はたいへん珍しかったといえる。

しかし、寺が建てられる前の寺域は、地獄谷とよばれた罪人の処刑場になっていたと伝えられていた。この谷に地藏菩薩を本尊とする伽羅陀山心平寺という仏堂が建っていたが、建長寺を開創するにさいし、時頼によって堂は巨福呂坂に移され、現在は横浜三溪園に移設されている。その本尊と伝える地藏菩薩坐像が、千体地藏にかこまれて建長寺仏殿内に安置されている。

## ■開山の周辺

開山蘭溪道隆禅師は、寛元4年(1246)33歳で来朝しているから建長寺入山は40歳頃と思われる。師は中国宋朝の禅風をそのまま導入し、大変な意気込みで百人余に及ぶ修行僧たちを指導している。自筆の国宝「法語規則」により、厳しい修行の内容が知ることができる。

弘長2年(1262)師は京都建仁寺に移り、そのあとに中国僧兀庵普寧が2世に迎えられたが翌年開基時頼公が没すると二年後の文永2年母国宋へ帰ってしまった。これにより開山禅師は再び建長寺に住することとなった。いわゆる蒙古襲来の折には間諜の疑いを持たれたらしく2度にわたり甲斐等に流されることもあった。

弘安元年(1278)には三度建長寺に住したが、同年7月24日、開山は建長寺で示寂する。大覚禅師を思慕した北条時宗が、中国から無学祖元(仏光国師)を招請して円覚寺を建立したのは建長寺開創から29年後のことである。無学和尚の活躍で鎌倉禅は一層の発展をみたのであった。

(引用:<https://www.kenchoji.com/about/>)



0001\_建長寺



0002\_建長寺



0003\_建長寺



0004\_建長寺



0005\_建長寺



0006\_建長寺



0007\_建長寺



0008\_建長寺



0009\_建長寺



0010\_建長寺



0011\_建長寺



0012\_建長寺



0013\_建長寺



0014\_建長寺



0015\_建長寺



0016\_建長寺



0017\_建長寺



0018\_建長寺



0019\_建長寺



0020\_建長寺



0021\_建長寺



0022\_建長寺



0023\_建長寺



0024\_建長寺



0025\_建長寺



0026\_建長寺



0027\_建長寺



0028\_建長寺



0029\_建長寺



0030\_建長寺



0031\_建長寺



0032\_建長寺



0033\_建長寺



0034\_建長寺



0035\_建長寺



0036\_建長寺



0037\_建長寺



0038\_建長寺



0039\_建長寺



0040\_建長寺



0041\_建長寺



0042\_建長寺



0043\_建長寺



0044\_建長寺



0045\_建長寺



0046\_建長寺



0047\_建長寺



0048\_建長寺



0049\_建長寺



0050\_建長寺





0051\_建長寺



0052\_建長寺



0053\_建長寺



0054\_建長寺



0055\_建長寺



0056\_建長寺



0057\_建長寺



0058\_建長寺



0059\_建長寺



0060\_建長寺



0061\_建長寺



0062\_建長寺



0063\_建長寺



0064\_建長寺



0065\_建長寺



0066\_建長寺



0067\_建長寺



0068\_建長寺



0069\_建長寺



0070\_建長寺



0071\_建長寺



0072\_建長寺



0073\_建長寺



0074\_建長寺



0075\_建長寺



0076\_建長寺



0077\_建長寺



0078\_建長寺



0079\_建長寺



0080\_建長寺



0081\_建長寺



0082\_建長寺



0083\_建長寺



0084\_建長寺



0085\_建長寺



0086\_建長寺



0087\_建長寺



0088\_建長寺



0089\_建長寺



0090\_建長寺



0091\_建長寺



0092\_建長寺



0093\_建長寺



0094\_建長寺



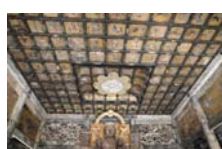
0095\_建長寺



0096\_建長寺



0097\_建長寺



0098\_建長寺



0099\_建長寺



0100\_建長寺





0101\_建長寺



0102\_建長寺



0103\_建長寺



0104\_建長寺



0105\_建長寺



0106\_建長寺



0107\_建長寺



0108\_建長寺



0109\_建長寺



0110\_建長寺



0111\_建長寺



0112\_建長寺



0113\_建長寺



0114\_建長寺



0115\_建長寺



0116\_建長寺



0117\_建長寺



0118\_建長寺



0119\_建長寺



0120\_建長寺



0121\_建長寺



0122\_建長寺



0123\_建長寺



0124\_建長寺



0125\_建長寺



0126\_建長寺



0127\_建長寺



0128\_建長寺



0129\_建長寺



0130\_建長寺



0131\_建長寺



0132\_建長寺



0133\_建長寺



0134\_建長寺



0135\_建長寺



0136\_建長寺



0137\_建長寺



0138\_建長寺



0139\_建長寺



0140\_建長寺



0141\_建長寺



0142\_建長寺



0143\_建長寺



0144\_建長寺



0145\_建長寺



0146\_建長寺



0147\_建長寺



0148\_建長寺



0149\_建長寺



0150\_建長寺





0151\_建長寺



0152\_建長寺



0153\_建長寺



0154\_建長寺



0155\_建長寺



0156\_建長寺



0157\_建長寺



0158\_建長寺



0159\_建長寺



0160\_建長寺



0161\_建長寺



0162\_建長寺



0163\_建長寺



0164\_建長寺



0165\_建長寺



0166\_建長寺



0167\_建長寺



0168\_建長寺



0169\_建長寺



0170\_建長寺



0171\_建長寺



0172\_建長寺



0173\_建長寺



0174\_建長寺



0175\_建長寺



0176\_建長寺



0177\_建長寺



0178\_建長寺



0179\_建長寺



0180\_建長寺



0181\_建長寺



0182\_建長寺



0183\_建長寺



0184\_建長寺